

ガストロノミー・ツーリズム世界フォーラムへの出展と エクスカージョンを通じたPR活動を行いました

地域産業推進課商工観光係 ☎ 34-2080

県が推進する食農観光・ガストロノミー・ツーリズムに関連して、UNWTO（国連世界観光機関）が主催する「ガストロノミー・ツーリズム世界フォーラム」の第7回世界大会が12月に奈良市で開催されました。

町では、世界フォーラム会場での屋台ブースへの出展や、大会参加者向けエクスカージョン（現地視察オプションツアー）を通じて町観光コンテンツのPR活動を行いました。

ガラディナーパーティでのブース出展

12月13日、世界フォーラムの招待客を対象とした立食パーティで、町内の生産者・事業者などが中心となってブースを出展、味間いもの「やよい汁」やヒノヒカリのみたらし団子などを提供しました。「おいしい」「地域性があり特徴的である」と好評をいただき、パーティ終了を待たず完食終了となりました。



▲田原本町ブース

▼和菓子作り実演



大会参加者向けエクスカージョン

12月15日、エクスカージョンを催行し7カ国から9人の参加者が町を訪れました。

道の駅で嶋田味噌の味噌づくり体験を行った後、マルト醤油で蔵の見学と昼食をとりました。

味噌や醤油製品に非常に深く関心を示され、その場で商品を購入する姿もありました。



▲味噌づくり体験

▼味噌汁の試飲



たわらもとフード・ラボ（仮） 設立シンポジウム

たわらもとフード・ラボ（仮）の設立を記念して、田原本の食と観光を考えるシンポジウムを開催します。

世界フォーラムで提供した食の振る舞いも予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

※たわらもとフード・ラボ（仮）とは

田原本の食を考え、発展させることを通して、地域活性化に取り組む住民、生産者、事業者などからなる有志の会です。

日時 **3月4日(土)** 午後1時30分～3時30分
開場=午後1時～

場所 青垣生涯学習センター 2階研修室

対象 どなたでも参加できます

※新型コロナウイルス感染症による影響により、本紙に掲載されている情報が変更になる可能性があります。最新の情報については、担当課へ問い合わせいただくか、町ホームページをご確認ください。

町長メッセージ Vol.60

奈良モデルと田原本町

人口減少が続く中、奈良県では市町村の合併が進まず、組織的・財政的に弱い自治体が多くあります。田原本町も過去に合併協議会を離脱した経験があり、合併の難しさを物語っております。

そのような中で、地方自治体の新しい形として奈良県が推進する「奈良モデル」というものがあります。これは、県と市町村、また市町村同士の連携・協働を図り、地域に最適な地方行政の仕組みを目指す取り組みです。

本町でもさまざまな分野での取り組みを活用し、大きな成果を出しています。

町が奈良モデルを活用した初めての事例は、やまと広域環境衛生事務組合によるごみ処理の広域化



球技専用スタジアム等完成イメージ

また、サッカーをはじめとする球技専用スタジアムの建設など、住みよいまちづくりのため、県と磯城郡3町が協働して進めている大和平野中央公園都市構想も奈良モデルの事例の一つです。

その他にも、県域水道の一体化や磯城郡水道事業の広域化、国民健康保険の県単位化、社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設の整備等内水対策事業などがあります。

このように、県や他市町村との連携は町発展の為になくてはならないものだと考えております。財政が厳しい中、今後も奈良モデルを積極的に活用し、町民の皆様「住みやすいまち田原本」を実現していただけるよう、よりよいまちづくりを進めてまいります。



田原本町長 森一章

広報たわらもと 令和5年 2月号目次

特集 p.4_5
二十歳のつどい

- p.2 町長メッセージ、最新トピックス
- p.6 まちの話題
- p.8 お知らせ+
- p.18 お知らせ、無料相談コーナー
- p.24 国保中央病院だより、料理、図書館だより
- p.27 健康カレンダー

町公式 SNS



LINE



Facebook



YouTube

今月の表紙



1月9日に行われた二十歳のつどい。実行委員を代表してお二人に、将来の抱負や目標を表明していただきました。

本紙4ページから、式の様子や活力あふれる姿を掲載していますので、ぜひご覧ください。